

# WebSAM NetvisorPro V 6.2 警子ちゃん4G (DN-1500GL) 連携例設定手順書

日本電気株式会社

2014年6月

# 目次

---

1. はじめに
2. 連携例
3. 設定手順
4. 運用中の操作例

# 1. はじめに

本書は、株式会社アイエスエイの警告灯「警子ちゃん4G DN-1500GL（以下 DN-1500GL）」と「WebSAM NetvisorPro V 6.2（以下 NetvisorPro V）」の連携例設定手順書です。

警子ちゃんシリーズは外部からリモートシェルコマンドにて制御できます。NetvisorPro V の、アラート発生時にコマンドを実行する機能(アクション通報)を利用して、アラート発生時に警告灯を点灯させる連携を実現します。

この連携によって、ネットワーク管理者は常に監視画面を見ていなくても、アラートが発生したことを即座に把握することが可能です。



# 1. 1. 本書の説明の前提条件と注意事項

本書で説明する連携例は、以下の通信ができることを前提としています。

- 「警子ちゃん DN-1500GL」と「NetvisorPro V マネージャサーバ」
- 「警子ちゃん DN-1500GL」と「NetvisorPro V ビューア導入PC（監視端末）」

本書の説明にあらわれる、DN-1500GL に関する設定画面、制御コマンド等の詳細については、DN-1500GL のマニュアルを参照してください。

本書の説明手順は、DN-1500GL で検証を行っています。

- 警子ちゃんシリーズの別製品でも同様の設定が可能な場合もありますが、制御コマンドなど、一部の設定手順・内容が異なる可能性があります。

本書の説明の一部で、株式会社アイエスエイ様の製品「ISA Remoteshell for Windows “IRSH”」を使用しています。

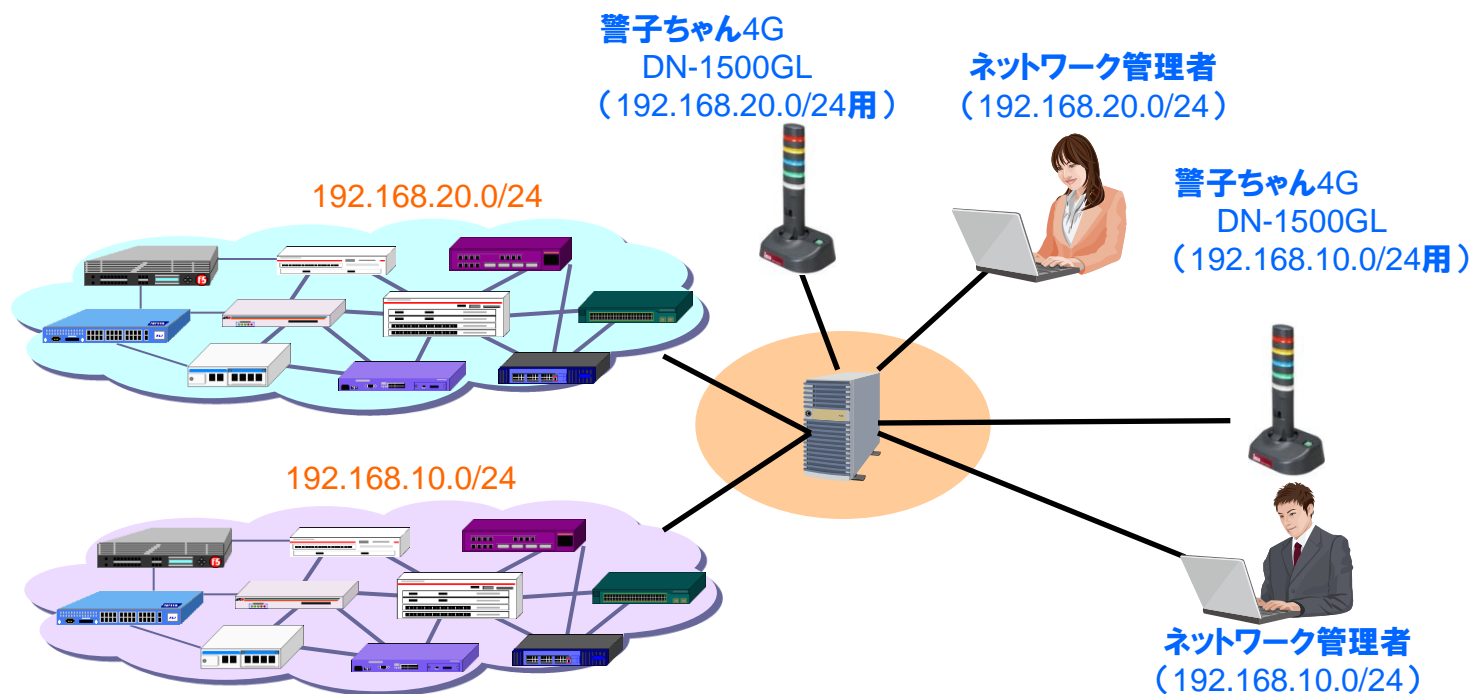
- IRSHの使用方法是、IRSHのマニュアルを参照してください。

## 2. 連携例

本書での連携例は、以下を前提としています。

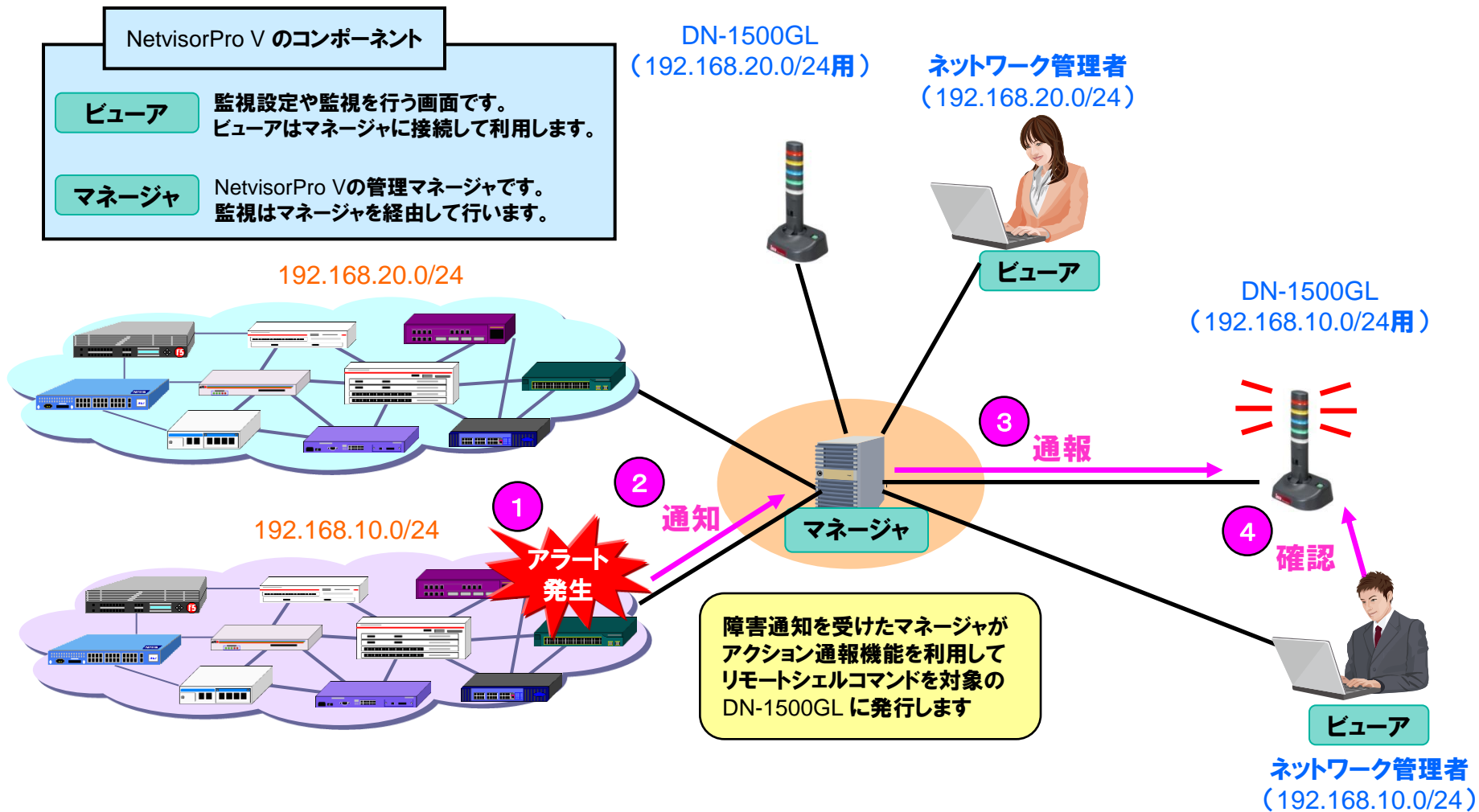
- 2つのネットワークをそれぞれ別の管理者が監視している
- 各ネットワーク毎に専用の警子ちゃんを設置している
- 各ネットワークで警告以上のアラートが発生した場合、対応する警子ちゃんを点灯する
- 障害の回復を確認後、NetvisorPro V のビューアから警子ちゃんを消灯する

この連携例では、ネットワーク管理者は発生したアラートが自分が担当しているネットワークで発生したものが、即座に把握することが可能になります。



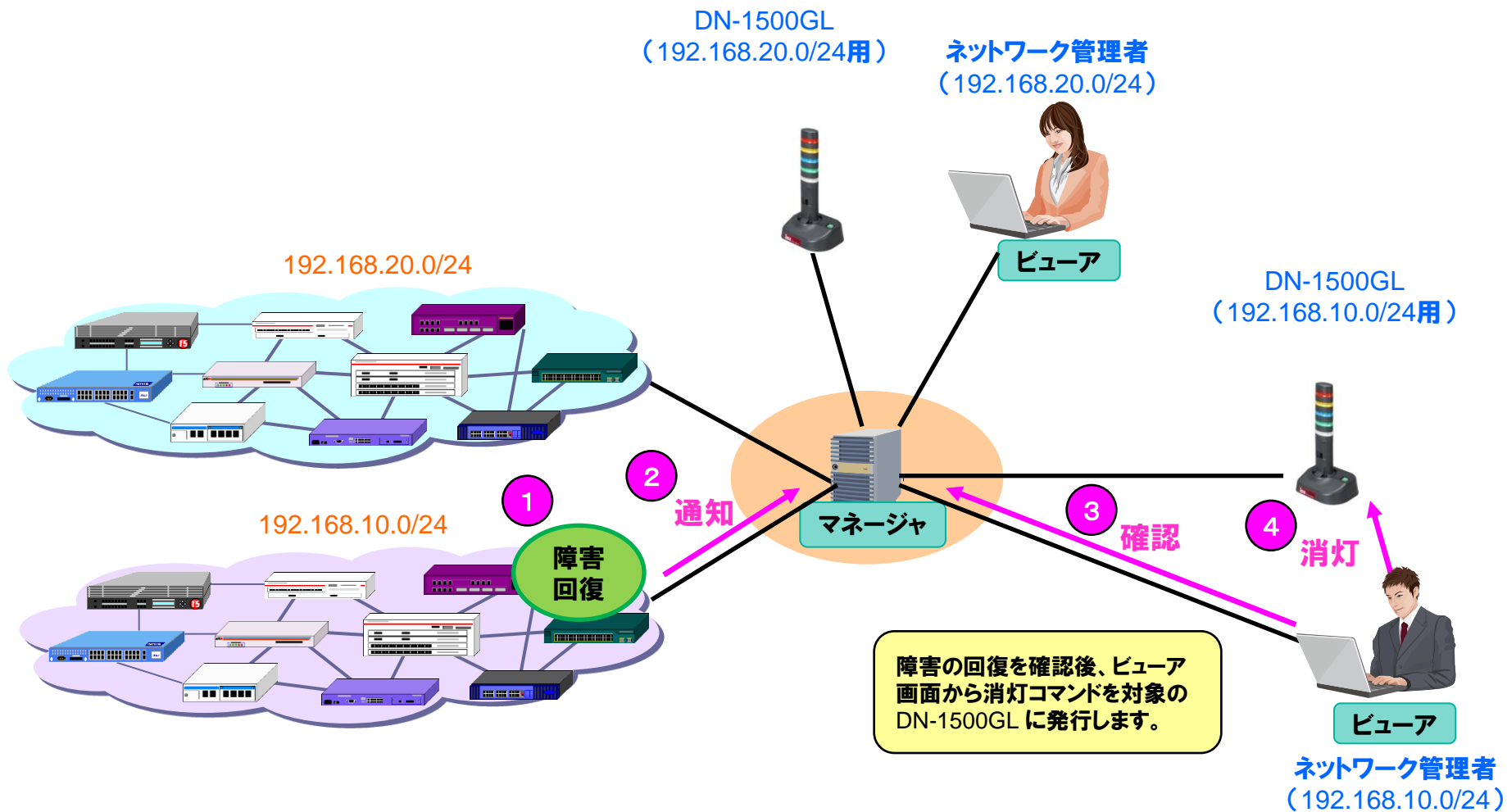
# 2. 1. 連携例の運用イメージ(点灯)

連携例の運用において、点灯(通報)は以下のイメージで行われます。



## 2. 2. 連携例の運用イメージ(消灯)

連携例の運用において、消灯は以下のイメージで行われます。



# 3. 設定手順

連携例の実現のために、以下の流れで設定を行います。

- 3. 1. リモートシェル(RSH)コマンドの準備
- 3. 2. 警子ちゃん DN-1500GL の設定
- 3. 3. NetvisorPro V の設定(点灯の設定)
- 3. 4. NetvisorPro V の設定(消灯の設定)



# 3. 1. リモートシェル(RSH)コマンドの準備

1. マネージャサーバ上にリモートシェルコマンドを準備します。
  - Windows の場合
    - ・ 株式会社アイエスエイ様が提供しているIRSHコマンドを使用します。
      - バージョン1.05 での動作を確認しています。
  - Red Hat Enterprise Linux の場合
    - ・ rshコマンドを使用します。
      - Red Hat Enterprise Linux 6 の rsh-0.17-60.el6 での動作を確認しています。
  - HP-UX の場合
    - ・ remshコマンドを使用します。
      - HP-UX 11i v3 の InternetSrvcs B11.31 での動作を確認しています。
2. ビューアPC(監視端末)上にリモートシェルコマンドを準備します。
  - 株式会社アイエスエイ様が提供しているIRSHコマンドを使用します。
    - ・ バージョン1.05 での動作を確認しています。
3. リモートシェルコマンドが実行できるように、ファイアウォールを設定します。
  - リモートシェルは通常、514/TCPポートを使用します。
  - ファイアウォール設定の詳細は、各コマンドのマニュアルを参照してください。

## 3. 2. 警子ちゃん DN-1500GL の設定

1. DN-1500GL の設定ツール(Web)画面を開き、ログインします。
2. 左メニュー「コマンドアクセス設定」をクリックし、コマンドアクセス設定の内容を確認します。

- マネージャが Windowsの場合

- ユーザ名1～5のいずれかに、「SYSTEM」が存在することを確認します。
- 「SYSTEM」がなければ、追加します。

- マネージャが Linux / HP-UX の場合

- ユーザ名1～5のいずれかに、「root」が存在することを確認します。
- 「root」がなければ、追加します。



- ※ NetvisorPro V のアクション通報からリモートシェルコマンドを実行した場合の実行ユーザを、Windowsの場合は「SYSTEM」、Linux/HP-UXの場合は「root」として設定する場合の例です。
- ※ 操作の詳細は、DN-1500GL のマニュアルを参照してください。

## 3. 3. NetvisorPro V の設定(点灯の設定)

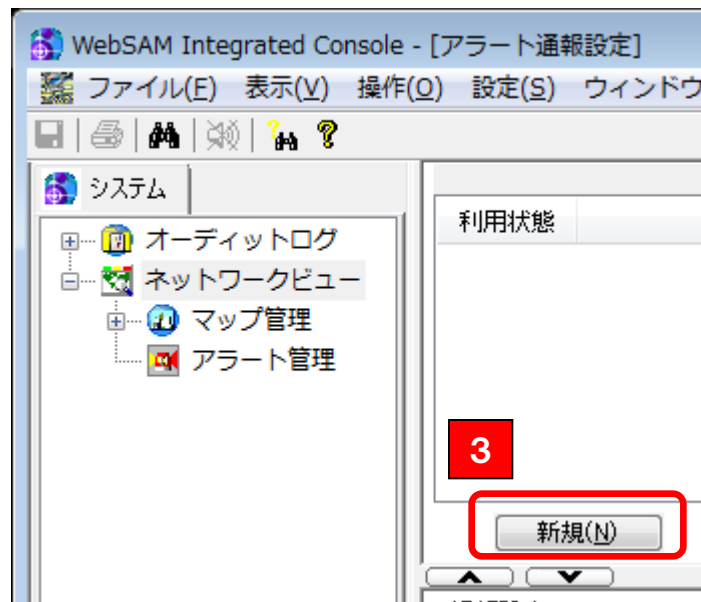
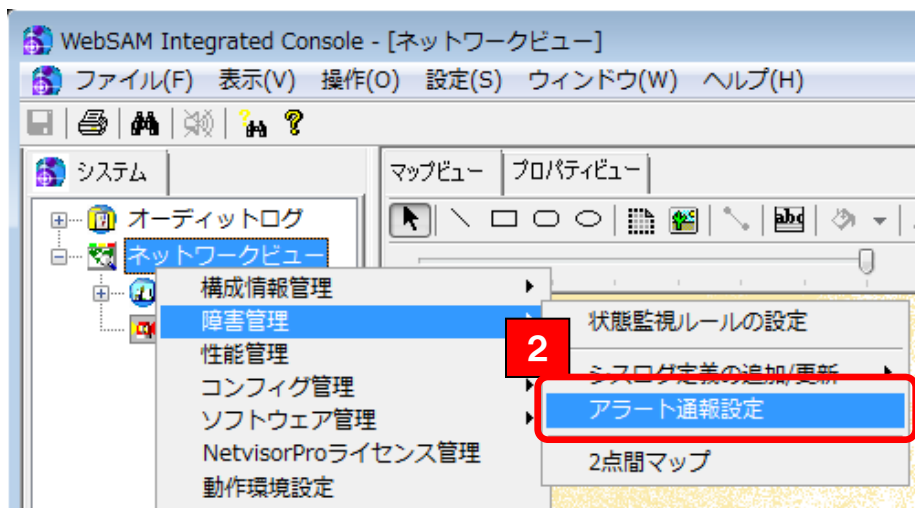
以下の流れで NetvisorPro V のアクション通報設定を行います。

- 3. 3. 1. アラート通報設定の新規作成
- 3. 3. 2. アラート通報条件の設定
- 3. 3. 3. アクション通報のポリシー作成
- 3. 3. 4. アクション通報ポリシー設定の確認
- 3. 3. 5. アラート通報条件設定の確認

# 3. 3. 1. アラート通報設定の新規作成

NetvisorPro V の画面から、通報設定を新規作成します。

1. NetvisorPro V のビューア画面を起動し、定義モードに移行します。
2. ネットワークビューを右クリックし、「障害管理」→「アラート通報設定」をクリックします。
3. アラート通報設定画面が開くので、「新規」ボタンをクリックします。



## 3. 3. 2. アラート通報条件の設定

アラート通報設定画面で、通報条件を設定します。

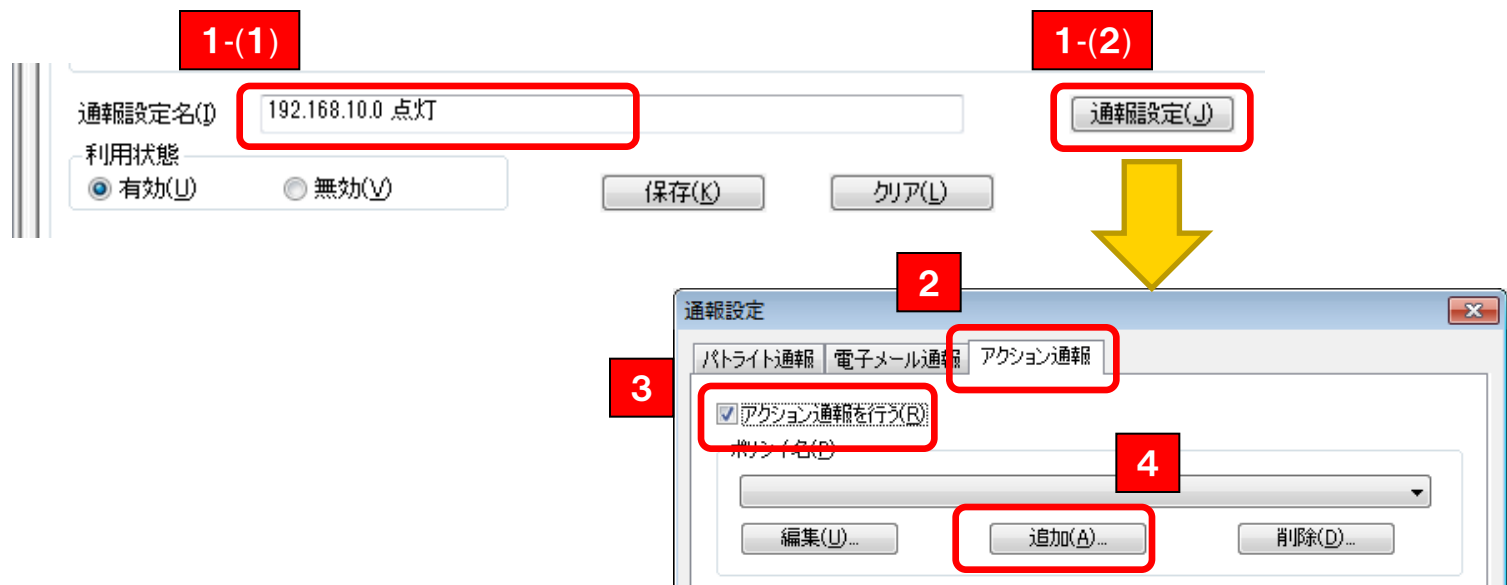
1. 「重要度」で「警告」を選択します。
2. 「アドレスを指定する」にチェックを付けます。
3. 「ネットワークアドレス」「ネットワークマスク」に、通報対象のIPアドレス範囲を指定します。
  - 指定したIPアドレス範囲で発生したアラートのみ通報します。

The screenshot shows the 'Alert Notification Settings' (通報設定) window. The 'Condition Settings' (条件設定) section is highlighted with a red box labeled '1'. The 'Priority' (重要度) dropdown is set to 'Warning' (警告). The 'Address Settings' (アドレス指定) section is highlighted with a red box labeled '2', and the 'Specify Address' (アドレスを指定する) checkbox is checked. The 'Network Address' (ネットワークアドレス) field is set to '192.168.10.0' (labeled '3-1'), and the 'Network Mask' (ネットワークマスク) field is set to '255.255.255.0' (labeled '3-2'). The 'Start Address' (開始アドレス) is '0.0.0.0' and the 'End Address' (終了アドレス) is '255.0.0.0'. The 'Period Settings' (期間設定) section is visible at the bottom, with buttons for 'Settings' (設定), 'Cancel' (解除), and 'Reference' (参照).

### 3. 3. 3. アクション通報のポリシー作成(1 / 2)

■ アラート通報設定画面からアクション通報ポリシー作成画面を開きます。

1. 「通報設定名」を入力して、「通報設定」ボタンをクリックします。
2. 通報設定ダイアログが開くので、「アクション通報」タブを選択します。
3. 「アクション通報を行う」にチェックを付けます。
4. 「追加」ボタンをクリックします。



# 3. 3. 3. アクション通報のポリシー作成(2 / 2)

アクション通報ポリシーのパラメータを入力します。

1. 「ポリシー名」に、任意の名前を入力します。
2. 「コマンド」に、3. 1で用意したマネージャマシン上のリモートシェルコマンドの絶対パスを指定します。
  - ・「参照」ボタンを押して、ファイル選択ダイアログから選択することもできます。
3. 「オプション」に DN1500GL のIPアドレス、ユーザ名、コマンドを入力します。
  - ・ DN1500GL のコマンドの詳細は、DN1500GL のマニュアルを参照してください。
4. 「OK」ボタンをクリックします。

マネージャが  
Windowsの場合の  
入力例

The screenshot shows a dialog box titled "アクションのポリシー" (Action Policy). It contains the following fields and buttons:

- ポリシー名(P):** 192.168.10.0 点灯 (Callout 1)
- コマンド(A):** C:\IRSH#\irsh.exe (Callout 2)
- 作業ディレクトリ(D):** (Empty)
- オプション(O):** 192.168.10.1 -I SYSTEM ACOP 1xxxxxxx (Callout 3)
- Buttons:** 参照... (Reference), 参照... (Reference), OK (Callout 4), キャンセル (Cancel)

## 3. 3. 4. アクション通報ポリシー設定の確認

アクション通報ポリシーの設定内容を確認します。

1. 通報設定の「コマンド」「オプション」が正しいことを確認します。
2. 「OK」ボタンをクリックします。

マネージャが  
Windowsの場合





## 3. 3. 5. アラート通報条件設定の確認

アラート通報設定画面に戻り、通報の条件設定を確認します。

1. アラート通報設定画面で、条件設定が正しいことを確認します。
2. 「保存」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Alert Notification Setting' (通報設定) window. A red box highlights the main configuration area, and a red circle highlights the 'Save' (保存) button. A red square with the number '1' is on the left, and another red square with the number '2' is next to the 'Save' button.

**1**

通報設定

条件設定

重要度(S)  以上    タイプ(T)     ノード名(O)

概要(Y)     詳細(X)

アドレスを指定する(B)

アドレス/マスク指定(E)    ネットワークアドレス(W)     ネットワークマスク(P)

範囲指定(G)    開始アドレス(B)     終了アドレス(E)

期間設定

スケジュール名            

スケジュール状態

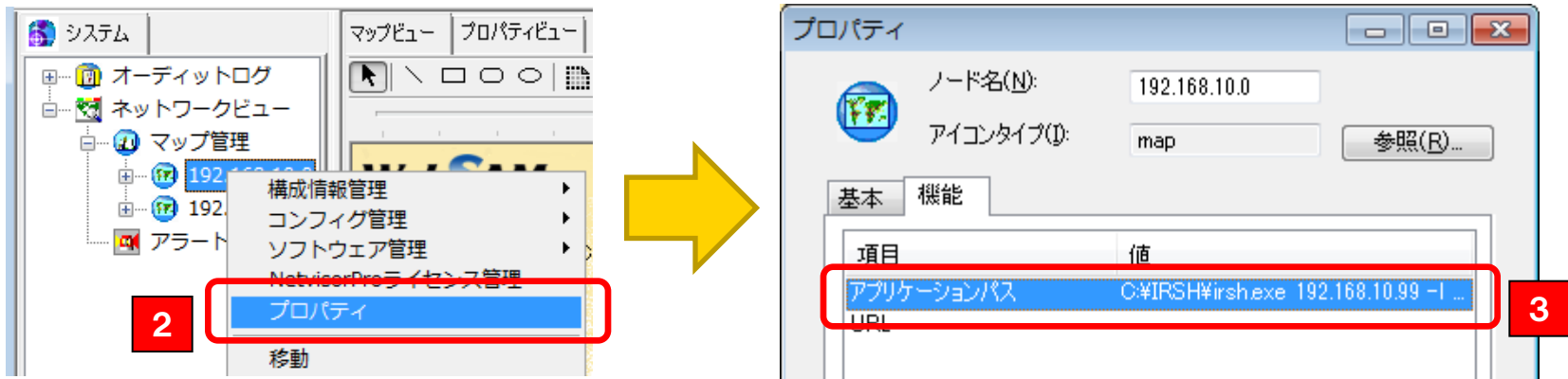
通報設定名(I)    

利用状態

有効(L)     無効(V)    **2**

## 3. 4. NetvisorPro V の設定(消灯の設定)

1. 通報対象のネットワークを表すマップアイコン(図では「192.168.10.0」)を右クリックします。
2. 「プロパティ」をクリックします。
3. 「機能」タブの「アプリケーションパス」に以下の内容を入力します。
  - 「C:¥IRSH¥irsh.exe 192.168.10.1 -l SYSTEM ALOF」
    - irsh.exe を、C:¥IRSH¥ に格納している場合の例です。
    - DN-1500GL のIPアドレスが、192.168.10.1 の場合の例です。
4. プロパティダイアログの「OK」ボタンをクリックします。



## 3. 4. 1. 消灯設定におけるヒント

■ マップアイコン以外の任意のアイコンに「アプリケーションパス」を設定することでも、同じような運用が実現できます。

- 例えば、DN-1500GL を NetvisorPro V にアイコン登録し、そのアイコンの「アプリケーションパス」に設定することも可能です。

■ IRSHコマンドの実行による消灯の他に、以下のような方法もあります。

- DN-1500GL の設定ツール(Web)画面から消灯する。
  - アイコンプロパティの「機能」タブ → 「URL」に、DN-1500GL 設定ツール画面のURLを設定しておくことで、NetvisorPro V のビューア画面から、DN-1500GL 設定ツール画面をランチすることもできます。
- DN-1500GL の本体スイッチを押して消灯する。
  - NetvisorPro V 側に消灯の設定は必要ありません。

# 4. 運用中の操作例

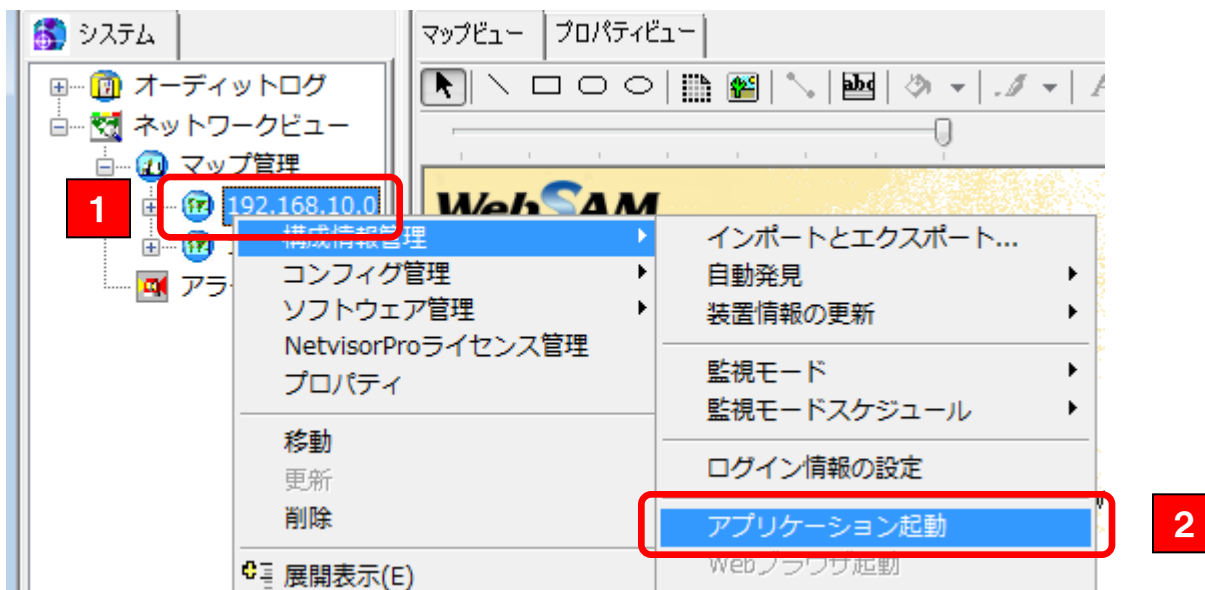
■ 運用中の操作として、以下の2点についての例を説明します。

- 4. 1. 障害回復後の消灯操作
- 4. 2. 通報履歴の確認

# 4. 1. 障害回復後の消灯操作

3. 4で消灯コマンドの設定を行ったアイコンから消灯を実行する操作例です。

1. 通報対象のネットワークを表すマップアイコンを右クリックします。
2. 「構成情報管理」→「アプリケーション起動」をクリックします。
3. DN-1500GL が消灯されたことを確認します。



## 4. 2. 通報履歴の確認作

アクション通報による点灯の履歴を確認する操作例です。

1. 「通報ステータス」タブに通報状態が表示されます。通報履歴をダブルクリックします。
2. 通報詳細ダイアログの「オプション」で、通報したアラートの内容を確認します。
3. 「通報設定」ボタンをクリックして、通報に使用したポリシーを確認します。
  - ポリシー内容の確認は、事前に定義モードに移行しておく必要があります。

The screenshot shows the 'Notification Details' dialog box with the following information:

通報日時: 2013/03/26 16:58:03  
サービス名: NvPROAlertActionMail  
概要:  
オプション:  
キー名 値  
ACTION  
ALLRECOVER  
APPLICATION updown:アップダウンチェック  
DETAIL コンポーネントと通信できません  
ENTERPRISE  
通報状態: 正常終了  
通報手段 結果 詳細  
アクション 正常終了  
通報指定(R): 通報設定...

The 'Notification Settings' dialog box shows the following information:

パトライト通報 | 電子メール通報 | アクション通報  
 アクション通報を行う(R)  
ポリシー名(P)  
192.168.10.0 点灯  
コマンド: C:\IRSH\irsh.exe  
オプション: 192.168.10.1 -I SYSTEM ACOP 1xxxxxxx

通報状態	通報日	通報時刻	サービス名	概要
正常終了	2013/03/26	16:58:03	NvPROAlertActi...	

# Orchestrating a brighter world

世界の想いを、未来へつなげる。

**未来に向かい、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。  
それは「安全」「安心」「効率」「公平」という価値が実現された社会です。**

**NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術をあわせ持つ類のないインテグレーターとして  
リーダーシップを発揮し、卓越した技術とさまざまな知見やアイデアを融合することで、  
世界の国々や地域の人々と協奏しながら、  
明るく希望に満ちた暮らしと社会を実現し、未来につなげていきます。**

Empowered by Innovation

**NEC**